



学校教育目標：心豊かで自ら学びたくましく生きる子どもの育成

干していた私のカップを着ています。



~~モテ期 到来!~~ 好奇心!

ある日の昼休み、校長室のドアからちょっと覗く2年生の女の子。入りたそうにしていたので「入っていいよ。」と声をかけると好奇心いっぱい笑顔で「うふふっ」と嬉しそうに入ってきました。

校長室は子どもにとって特に用事がなければ入りにくい場所なのでしょう。真夏や冬場は空調の為、廊下側のドアを閉めていることが多いですが、春や秋などは開けておくことも多いです。でも、子ども達は「ちゃんとした用事があったり、呼ばれたりしたとき以外は自分達が行くところではない。」とわかっているのです。用もなく勝手に入ってはきません。1年生の時、学校探検で校長室の見学したりするのですが、やはり「校長先生がいつも一人にいる、何をし

てるか、なんとなくよく分からない秘密の場所」といった感覚なのかもしれませんね。

歴代の校長先生方の写真や昔の東小の木造校舎の写真があったり、来客用のソファやテーブル、会議用の長テーブル、そして書類が入る金庫があるくらいで、どちらかと言えば殺風景かもしれません。でも、二人のその目は好奇心いっぱいキラキラ、いや、ギラギラしていたかもしれません。秘密の部屋に入ったという特別感を味わえたようです。

この二人、次の日の昼休みもやってきました。(二人の美女に2日間も囲まれて、人生初めての『モテ期』が、ついに私にもやってきたと思いました。)昨日に引き続き、興味津々の様です。(残念ながら私に・・・ではなく、校長室に・・・です。狭い部屋です。そんなに見る所はないと思うんですけど・・・)しまいには窓の外、中庭で縄跳びしていたクラスの男の子に手を振り、声をかけて「おいでよ」と誘っていました。

「校長室」に限らず、大人から見たら、なんということはないようなことでも、子どもの目で見ると世界は、不思議なことだらけでしょう。この間、校庭に降った「雪」を見つめる目も好奇心いっぱい子ども達でした。

『好奇心』それは子どもに限らず、大人になっても大切な事ではないでしょうか? 「何? なぜ、どうして?」、「面白い、もっと知りたい!」と思う好奇心や探求心は、私達の「学びの原動力」です。子どもの好奇心や探求心が満たされれば、無理やりやらされなくても、自然と自ら調べ、考え、学ぼうとするものです。主体的な学びは理解も早く、よく身に付きます。学校で行う授業その他の活動も、子どもの好奇心をおおいに刺激するものでありたいです。子どもの「好奇心」。大事にしたいものです。そして私達大人も忘れずに持ち続けたいものですね……。

二人に誘われました! 校長室の椅子です。



寒くても、眠くても・・・早寝・早起き・朝ごはん!

まだまだ寒い日が続きます。冷え込みが厳しい朝は起きることやベッドや布団から出るのが億劫になります。そこで我慢! 弱い自分の心と勝負です。エイッと起き上がり、新しい未来の一日をスタートさせましょう! そして……

◇朝食をしっかりと食べさせる。

○低下した体温を上昇させ、体を目覚めさせることができる。(体内時計を調整し生活リズムをつくる。)

○脳のエネルギーを作り出し、活動のエネルギーを体に送り出すことができる。

脳の唯一のエネルギー源はブドウ糖。ブドウ糖は体内に大量に貯蔵しておくことができず、すぐに不足します。つまり空腹な状態で起きた朝の脳は、エネルギー欠乏状態。朝ごはんを抜くと、脳のエネルギーが足りず給食までの午前中、集中力や記憶力が低下します。しっかりとご飯やパンなどの炭水化物を食べましょう。

◇決まりを守って登校させる・・・本校の登校時刻は7時50分迄。

○早寝・早起きをして、生活リズムを身に付けます。そして、しっかりと食べ、しっかりと歩いて、登校時刻に間に合うように登校しましょう。リズムをつくり、朝から栄養をしっかりととり、歩いて体を動かすことで心身が目覚め、良い一日、良い笑顔に繋がります。

